

理想

絆

～輝かしい未来の追求～

きまむ

2017.12
No.639



2017 年度を振り返って



第57代理事長
大石 聡正

2016年の55周年及び第49回ブロック大会豊岡大会を終え、22名のメンバーでスタートする事となった2017年、「理想」～輝かしい未来の追求～をスローガンに活動してまいりました。定款・諸規定の変更をはじめ全州青年会議所との交流の在り方、会員資質の向上、そしてLOMの最重要課題である会員拡大とメンバーにはご尽力いただきました。これから多くの役職を受けるメンバー、そしてこれから入会する候補者がいるからこそ活動出来た1年であったと思います。

また、理事長という役の中で組織の未来を考えさせられる1年ともなりました。役を受けずに言いたいことだけを言う、役を使って言いたいことだけを言う、そんなリーダーが、組織が、地域から必要とされるのか？を考えさせられる年ともなりました。これから訪れる人口減少に歯止めのかからない次代に向け、我々の活動もどんどん変化していかなければ、明るい豊かな社会には程遠い組織になると考えられます。人が人として存在を得られるためにも、誰のため、何のためにかをしっかりと考え、処理を活動に変えていく事がもっとも必要であると考えます。まちをより良い姿にと思う気持ち「奉仕」であり、そこに向け活動することが「修練」、その中で共感し合える人が「友情」であると考えます。希薄化してしまった「奉仕」こそが今の現代社会に必要ではないでしょうか。便利さを求めるがゆえに無くなりつつあるものを大切に100周年に向け万進して行ける団体であることを祈念致します。

1年間多くのご支援いただきました皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2017 年度卒業予定者よりメッセージ



田岡 聖司

2009 年入会

2009 年 J C 入会のお誘いを躊躇していた私も入会の時が来ました。中学から東京に行っており地元知り合いが少ない私にとって多くの繋がりや素晴らしい機会をいただいた 9 年間でした。気が付けばあっという間でしたが、共に笑い汗を流し、時には涙した青春時代、そして仲間たちとの友情は掛け替えのない宝物です。

2012 年、西村理事長のもと輝く未来創造委員会の委員長を拝命しました。豊岡市について調べ、青年経済人として何をしなければならないのか、本気で悩み、考え、眠れぬ夜を過ごしたことを今でも思い出します。

最終的に外国人が集う「国際都市豊岡」を目指す未来像を掲げました。事業構築から開催、この時間が私自身大きく成長できた時間でした。今や行政と市民が一体となって外国人誘致を進めている現状は、まさに私が夢見ていた豊岡の姿です。また 2016 年、坂本理事長のもと専務理事を経験した際は創立 55 周年、ブロック大会を開催し、多くの仲間に支えられた 1 年でした。これら多くの経験が私の人生を変えたといっても過言ではありません。私自身 J C のお陰で今があります。今年で J C は卒業となりますが、来年も監事として 1 年間 J C に関わらせていただきます。在籍中関わっていただいた多くの先輩、仲間に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



和田 章太郎

2005 年入会

27 歳より 13 年間、私を育ててくれたこの一般社団法人豊岡青年会議所は私にとっての最高の教育機関であったと思います。ビールの注ぎ方も、鍋の作り方も分からず、体で覚え、時には厳しくご指導頂き、またある時は楽しく、様々なことを教えていただきました。広報誌「絆」の原稿依頼があり振り返りますと、共に活動したメンバーとの時間、各年度に所属した委員会、様々な事業や遠征など、全てが楽しい思い出として蘇ります。13 年間例会皆出席という入会前にお誘いいただきました先輩との約束も守ることが出来ました。

本年度卒業する 1977 年生まれの我々の平均寿命は、98 歳まで上昇すると考えられています。100 歳まで生きる時代が来たことを考えると、青年会議所卒業後 60 年、どのように生きていくか、この一般社団法人豊岡青年会議所で学んだ、自分を鍛え上げやり遂げる強い意志と覚悟が人を大きくするという考えが必ず自分の糧となり、今後の人生に大いに役立つと思います。

一般社団法人豊岡青年会議所で充実した 13 年間を楽しく送ることができたことにメンバー皆様に感謝を致します。ありがとうございました。



2017 年度卒業予定者よりメッセージ



小林 千晶
2011 年入会

2011 年にご縁をいただき、一般社団法人豊岡青年会議所に入会しました。そこはこれまで経験したことも見たこともない世界で、入会当初は何もかもが新鮮で毎日が緊張の連続でした。同時に、組織にもあまり馴染めず、違和感ばかりを抱いていました。しかし、入会してから時間が経つにつれて、少しずつ色々なことが分かり、自分自身の心も少しずつ変化していきました。その転機の一つが、国際関係委員長を拝命した時です。この時は多くの時間を J C に費やしました。仕事やプライベートとの両立が難しく、正直苦しい時もありました。しかし、その分、周りの仲間達から欠点や弱点を指摘され、叱咤激励をいただくことで、まずは自分自身を知る機会をいただきました。そして、人は人によって磨かれるということを感じながら、多くの方との出会いと関わり合いから多くの気付きや学びを得て、自らの成長へと繋げさせていただくことが出来ました。

J C は私に成長の機会をくれましたが、その多くが人との繋がりからいただいたものでした。その繋がりこそが私が J C で得たかけがえのない宝です。今後は、J C での経験とそこで得た宝を大切に、次のステージで遺憾無く発揮していくことをお約束申し上げ皆様への感謝の言葉とさせていただきます。7 年間お世話になりました。



栢谷 達彦
2012 年入会

入会予定者として出席した年忘れ合同例会で名刺交換させていただいている最中での一コマ。「栢谷？素ちゃんの息子か！」それは父親が O B であることを初めて知ったとともに、18 歳から 33 歳まで豊岡を離れ、25 歳で父親を亡くした私にとって、父親が遺してくれたもの、人と人とのつながりを身近に感じた瞬間でもありました。

在籍中は、創立 55 周年、第 49 回ブロック大会主管等があり、特にブロック大会は 1 日の大会の為に準備から実行まで丸 2 年、後悔することなく全力疾走できたことは自分への自信となりました。また、その過程において、多くの人と出会い刺激を受けたことは私にとって無形の財産となっています。

もし、入会していなければこの地域に住む一員という意識は恐らく芽生えておらず、意識の変化をもたらしてくれた一般社団法人豊岡青年会議所に深く感謝しております。

お世話になったまちは数多くあれど、自分が生まれ育ったところは豊岡しかありません。これから微力ではありますが、生まれ育った故郷への恩返しをしていきたいと思えます。

最後に J C 活動を支えてくれた会社・家族に感謝の意を表し、卒業させていただきます。6 年間、ありがとうございました。



2017 年度卒業予定者よりメッセージ



坂本 裕
2007 年入会

当時は気づいていかなかったけれど、11年前の自分は、己の力だけを信じていた、独善的な人間だったのかなと思う。そんな人間も、この青年会議所の存在に、その仕組みに幾度となく頭を打たれ、そして仲間に助けられ、同志に感化され、やっとまともな大人になれたような気がする。嫌いな人間と関わらなければならない、やりたくない事をやらされてるっていう原因が、明るい社会のために、自分を鍛えるためなんだったっていう目的に変わった時、人は大きく成長し、更に多くのつながりと深い歴史を意識すること自分の限界を突破し、目覚ましい情熱を得ることができるのだと思う。

とは言え、JCとは、いつも楽しいわけじゃあない。でも、いつも辛いわけじゃない。

人をバカにしたり、バカにされたり
無駄な時間や、無駄なお金を使ったり
本気で怒ったり、怒られたり
深く傷ついたり、深く傷つけたり
抱き合って涙を流したり
肩を組んで笑いあったり・・・

こんな経験は、全て青年だけに許された特権。かけがえのない体験による、自分の器を超えた成長をもって、社会のマンネリズムに一矢を穿つ。それが永遠続くJCの運動である。この国のために、住み暮らす地域のために。子供たちの未来のために。

青年会議所に二度目は無い。今しか。コソシかない。だから、たった1回の機会を大切にしてほしい。支えてくれた皆様へ。今から恩返しします。ありがとう。



多くの機会や経験、沢山のご縁を与えてくれました、一般社団法人豊岡青年会議所、お世話になりました先輩諸兄、現役メンバー全ての皆さま、そして、支えてくれた家族と従業員の皆さまに心より感謝申し上げます。

豊岡JCに入会させていただいて以来、はや9年が経とうとしています。1年目の委員会で、「JCは貸し借り」、「口に出したことはやり遂げなさい」、そして、「いただいた恩は後輩に返しなさい」と、当時の私はよく理解もしないで、言われるがまま、ただ一生懸命に同期の仲間と共に歩みました。

そして、2年目以降のJCが始まりました。元来飽き性な私は、ある程度の先が見えてしまうと中途半端な状態でよしとしてしまいがちでした。しかし、JC活動をしていく中で、責任をもって有言実行し、懸命な仲間の為に、同じくらい懸命に活動するメンバー、そんな姿を目の当たりにし、自分自身に危機感を覚えると同時に、触発され、気付けば懸命に活動する自分自身が居ました。どうして良いか分からなくなり、悔しい思いをしながら、達成した時の感動、何の為、誰の為、不思議と1年目の教えに返ってくるような気がします。

卒業、これからが本当の成果を試される時だと思います。



中島 丈裕
2009 年入会



2017 年度卒業予定者よりメッセージ



大石 聡正
2006 年入会

まちの事、人に関心もなく入会し 12 年間の月日と言う答え探しが一旦終わりました。見えないものを手探りで探すより過去から導き出す成長もない答えが何を意味するのかを学ぶ良い機会となりました。過去を全て否定するわけではないが入会当初から比べると見えないものに危機感を感じさせることが修練に変わってしまっているのではと感じます。

嬉しくても悔しくても心から涙を流せるそんな組織だからこそまちについて真剣に向き合い考え活動することが出来たと思います。

この課題は 40 歳からの自分に置き換えて余生を過ごして行きたいと思います。

良くも悪くも入会から全ての委員会を経験させていただく中でブロック大会開催の一ヶ月前に理事長を任命された時だけは最果ての地を見る気分でした。しかし支えてくれる仲間がいて家族があったからこそ少しずつ前に進むことが出来たことに心より感謝いたします。

しっかりとした恩返しを今後の答え探しの中の一つとしてこの組織を去ります。ありがとうございました！



11 月 10 日 (金) 18:30 ~ 21:08

11 月第 1 例会・臨時総会

於：じばさん TAJIMA2 階第 1 交流センター



11 月 10 日 (金) じばさん TAJIMA2 階第 1 交流センターに於いて、11 月第 1 例会を開催しました。本年度最後となる会員スピーチでは、「自己変革宣言」というテーマで 3 名のスピーカーがそれぞれの変革意識を話してもらいました。また、会務報告では、理事・役員・出向者等より本年度の活動の総括報告がなされました。今回も一般社団法人豊岡青年会議所らしい凛とした例会になったと感じています。

また、例会終了後には臨時総会を開催しました。2018 年度賛助会員入会に関する件、2018 年度事業計画に関する件、2018 年度収支予算案に関する件、以上の 3 議案が採択されました。谷原議長のスムーズな議事進行のもと、次年度に関する 3 議案全て可決承認されました。

(総務委員会副委員長 佐藤 幹也)

11月17日(金)

但馬 4 J C 理事長会議

於：アール・ベル・アンジェ豊岡



但馬 4 J C 理事長会議が 11 月 17 日 (金) に開催されました。理事長会議では事業報告と決算報告が承認され、その後の懇親会では和気あいの雰囲気の中、但馬 4 J C の絆を再確認できました。本年度は懇親会の中で、次年度タイムがあり、次年度へ向けて各 L O M の所信を情報共有出来た有意義な機会となりました。

(専務理事 中島 丈裕)

11月15日(水)

第 1 回じゃがいもクラブコンペ

於：久美浜カンツリー倶楽部



集合写真



優勝の金下OB

11 月 15 日 (水) 久美浜カンツリー倶楽部にて、2018 年度第 1 回じゃがいもクラブコンペを開催いたしました。心配されていた天候も良く、O B 16 名、現役 12 名の参加を得て、楽しく、和気あいのうちに終えることが出来ました。

尚、優勝の栄冠は金下幸嗣 O B が獲得されました。

優勝 金下 幸嗣 O B (G91 H22 N69)
準優勝 大友 孝君 (G108 H36 N72)
第 3 位 太田 明英 O B (G98 H25 N73)

(じゃがいもクラブ支配人 飯田 雄樹)

おくやみ

- 11 月 23 日 (木) 西村郁男 O B がお亡くなりになりました。
 - 11 月 26 日 (日) 佐伯雄一 O B がお亡くなりになりました。
- 謹んでご冥福をお祈りいたします。

■ 事業案内 ■

■ 新春賀詞交換会

日 時 2018 年 1 月 1 日 (月) 10:50~12:00
場 所 小田井縣神社・小田井会館
ホスト 総務委員会

■ 1 月第 1 例会・通常総会

日 時 2018 年 1 月 12 日 (金) 18:30~
場 所 市民会館会館棟 3 階ギャラリー 1・2
ホスト 総務委員会

■ 編集後記 ■

今回をもちまして 2017 年度「絆」は最後となりました。何とか 12 回発行することが出来ました。

我々がどんな活動をしてきたのか、そして、どんな想いで事業を行ったのか紙面を通して多くの皆様に伝えて参りました。2017 年度総務委員会一同、2017 年度の思い出を「絆」に残せたことを嬉しく思います。

最後になりますが、ご協力いただきましたメンバーの皆様、並びに関係各位に心より感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

(総務委員会)

発行日：平成 29 年 12 月 8 日
住 所：豊岡市幸町 6 番 35 号
T E L：0796-22-4041

発 行 所：一般社団法人豊岡青年会議所
編 集 発 行 人：総 務 委 員 会
印 刷：総 務 委 員 会